国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

共に北海道の未来を創る 第9期北海道総合開発計画

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和８年１１月１１日
旭 川 開 発 建 設 部

旭川開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

～第４２回総合評価審査委員会を開催しました～

令和８年９月２９日（火）に開催された第４２回　旭川開発建設部　総合評価審査委員会の審議概要について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】　国土交通省　北海道開発局　旭川開発建設部
技術管理課　課長　鎌田　将慶　(0166-32-3897)
技術管理課　上席専門官　河田　雅博　(0166-32-4649)
旭川開発建設部ホームページ　https://www.hkd.mlit.go.jp/as/
旭川開発建設部公式Ｘ（旧 Twitter）アカウント　https://x.com/mlit_hkd_as

第４２回旭川開発建設部総合評価審査委員会　審議概要

開催日及び場所	令和８年９月２９日（火） 旭川開発建設部　入札執行室
委　　員	○長澤　徹明　（北海道大学名誉教授） 北島　　浤　（東海大学名誉教授） 今　　尚之　（北海道教育大学准教授） 遊佐　順和　（公立大学法人旭川市立大学教授）　（○印は委員長）

議　事

１．総合評価落札方式の実施結果について
① 石狩川砂防事業の内　白川第１号堰堤外工事
② 一般国道４５２号　美瑛町　台ノ下山トンネル工事
③ 鳥沼宇文地区　北６号用水路ヌッカクシ南工区工事

２．建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について
④ 旭川開発建設部管内　道路整備効果・サービスレベル向上検討業務

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意　見・質　問	回　　答
１．総合評価落札方式の実施結果について **抽出された工事３件、業務１件について概要説明及び審議を行った。（以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は機密保持の観点から記載しておりません）**	
① 石狩川砂防事業の内 **白川第１号堰堤外工事**	
・監理技術者について、技術者を2名記載している者がいるのはなぜか。	・監理技術者は専任義務が生じることから、他工事を落札した時に備え、複数記載する場合がある。複数記載することは可能であり、この場合の評価は点数が低い方の者で評価している。
・技術者と企業の成績について、企業に所属している技術者にもかかわらず、点数が違うのはなぜか。	・技術者の点数は過去10カ年で任意の工事での点数であり、企業では過去2年間での平均点であるため。
・提出された資料の審査にあたって、企業への監査を実施しているか。	・監査は行っていないが、受注後に提出された資料に虚偽記載があった場合は入札が無効になる。
・コンクリートの養生について、複数の視点での提案となっているが評価されているのはなぜか。	・提案内容はコンクリート養生に関して重要な内容であるため評価している。

・法面工施工時の安全対策について、現地の条件と整合した提案となっているか。	・現地は急峻な地形であることを踏まえた安全対策に関する提案のため評価をしている。
② 一般国道４５２号 美瑛町　台ノ下山トンネル工事 ・一次審査と二次審査を行い、入札参加者を段階的に絞り込む手法は何に拠るものか。	・本工事は技術提案評価型のS型（WTO）に該当し、段階的選抜方式については、北海道開発局で公表している「総合評価落札方式の考え方」において、技術提案を求める参加者を絞り込む必要がある場合に試行的に実施することになっている。トンネル工事は過去の実績において多数の応募者がいることから、入札説明書にて上位10者とする段階選抜方式を実施した。
・一次審査、二次審査の項目や配点は標準的なものか。	・北海道開発局における標準的なものである。
・一次審査の安全対策について、各社の評価に大きな差がついているのはなぜか。	・提案の内容が多種多様であったため評価に差が生じたものである。
③ 鳥沼宇文地区 北６号用水路ヌッカクシ南工区工事 ・接触事故防止の提案について、提案内容の違いが見受けられるが同評価なのはなぜか。	・相対評価ではないため、一定の効果が認められる内容ならば同等に評価している。
・賃上げの評価について、表彰の評価と同様に賃上げ幅に応じた配点は設けないのか。	・現在の賃上げ評価制度は国の統一基準のため評価基準や配点体系を変更することは難しい状況にある。ご意見については今後の参考にしたい。
・施工計画の技術評価に差がつかないのは、若手技術者育成型の試行工事のためか。	・若手技術者育成型のためではなく、施工能力評価型Ⅰ型①の工事については、適切な施工を行うことが確認できる提案ならば評価するため、今回は評価に差がつかなかった。
２．建設コンサルタント業務における簡易公募型プロポーザル方式及び価格競争落札方式の実施結果について	
④ 旭川開発建設部管内　道路整備効果・サービスレベル向上検討業務 ・評価テーマに関する評価方法について、説明してほしい。	・与条件との整合性と着眼点、問題点、解決方法の的確性を評価し、着眼点、問題点、解決方法についての提案の実現性を確認するため、説得力と類似実績を評価している。
【上記工事・業務について適切な評価と認める】	以上